

入学式 式辞

令和5年4月11日

校庭の木々も新しい芽を吹き、すがすがしい春の風が吹き抜ける今日の良き日、第19回奈良県立奈良北高等学校の入学式を挙げるにあたり、育友会長丸山様、北高後援会長脇田様、上町自治会長中本様のご臨席を賜り、保護者の皆様方と共に新入生の皆さんの前途を祝福させていただくことは、この上ない喜びであります。ご臨席を賜っております皆様方に、高壇からではございますが、教職員を代表いたしまして、心よりお礼申し上げます。

さて、ただいま入学を許可いたしました第19期360名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。皆さんは、高校入試という試練を乗り越え、奈良北高等学校の生徒になりました。これから始まる高校生活への期待に胸を膨らませ、大きな夢を抱いていることと思います。皆さんには、今日のこの日の出会いに感謝し、これから本校で過ごす日々を一期一会の思いで臨み、相手を敬い、自らを誇り、奈良北高等学校の生徒として、かけがえのない日々を積み重ねていってほしいと思います。

同時に、皆さんが今日の日を迎えることができたのは、時には優しく見守り、時には厳しく指導して下さった、保護者をはじめ、ご家族の皆様や、多くの方々の支えがあったからです。このこともしっかりと心にとめ、「感謝の気持ち」を忘れないでください。

さて、本校は平成17年に北大和高等学校と富雄高等学校の伝統を引き継ぎ、「好きな分野、得意な分野を伸ばす高校」として、新たに理数科と普通科をもつ県立高等学校として歩み始めました。令和2年度からは、理数科を数理情報科として教育を推進してまいり、来年度には20周年を迎えます。

さらに、今年度より、文部科学省から、「スーパー・サイエンスハイスクール」(SSH)に指定され、国際社会で科学技術の振興や社会の発展に貢献できる人材を育成するため、探究の基礎、探究の実践、探究の深化の課程を踏まえたカリキュラムを構築し、専門機関や地域、自治体との連携、教科等横断的な取組の実践、国際性の育成を重視することにより、文系・理系の枠を越えた「科学的探究力」の育成を更に進めてまいります。

本校の校章は、北極星と生駒の伝統産業である茶筌を図案化したものです。北極星は、高い志をもつ揺るがない心の象徴として、茶筌は平常心を失わず敬愛や感謝の気持ちをもつという茶道の精神を表しています。これには、本校生が将来心豊かに強い意志をもち社会において活躍するようという願いが込められています。

また、本校の校訓は、「自律・共生」です。

「自律」とは、自主・自立の精神と自己責任の重要性を説いています。

「共生」とは、自己と他人との違いを豊かさとして捉え、共に生きる心を意味します。

「創造」は、自己の個性や適性、興味・関心を大切に、創造する力を身に付け、社会に貢献できる人間に育つことを目指しています。

私たちが生きている現代社会は、テクノロジーの急激な進化や地球温暖化に伴う気候変動、世界情勢の先行きの不透明さ等の中で、将来を予測することが困難な時代を迎えているといわれて久しくなります。これから私たちが直面していく課題も変化し、それに対する最適な答えも変化していくでしょう。

そのような社会では、もちろんこれまでの経験で培われてきたことを参考に判断するこ

と、いわゆる先人の知恵も大切ですが、自ら課題を発見し、未知の問題に対応できる力が求められます。

皆さんには、自分をしっかり見つめ「自分らしさとは何かを深掘りすること」、様々な人の考え方を知り、自分とは考えが違う人と協働し「共感力を鍛えること」、そして自分の力「自分を信じること」、自分を大切にし、高め、自分を成長させ、相手の気持ちを察し、相手の立場に立って考え行動できる力をつけ、時代の変化に応じて新しい価値を創造しながら社会を築いていくことを意識してほしいと思います。

言い換えると、校訓を胸に刻み、これを実践できるよう日々の生活を送ってほしいということなのです。

これは、決して難しいことではありません。日々の生活を大切にし、毎日前を向いてできることを積み重ねていくことです。そうすれば、知らず知らずのうちに力がつき、成果に結びつき、本物になります。本物は、簡単には崩れません。

「大海よりも壮大なものは大空である。大空よりも壮大なものは人心である」ヴィクトル・ユゴーの言葉です。

新しい発見や発明、他者を思いやる心、人とのコミュニケーションには想像力は不可欠です。みなさん、想像力を羽ばたかせ、新しい自分をつくりあげ、夢の実現に向かって仲間や私たち教職員と一緒に前進していきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様方、本日は誠におめでとうございます。本日から、大切なお子様を本校の生徒として、3年間お預かりすることになります。我々教職員一同、全力でお子様の教育に邁進する所存でございます。高校生となられたお子様をご覧になり、きっと大きな成長を感じておられると思いますが、多感な高校時代は、人生の中でも心の揺れが大きくなる時期でもあります。ご家庭でも、お子様とコミュニケーションをとる機会をできるだけ設けていただき、支えていただきたいと思います。

お子様が卒業を迎えるその日まで、教職員が一丸となって、お子様の成長のための努力を惜しまない所存でございます。

これからの教育は、学校、家庭、地域社会が連携していくことがますます重要になっていきます。生徒、教職員、保護者の皆様が同じ目標に向かうことで、教育の成果は上がるものと考えています。お子様の成長を支えるための、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

保護者の皆様方に、本校教育の推進に対しまして、ご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。入学式の式辞といたします。

奈良県立奈良北高等学校
校長 仲田 千鶴